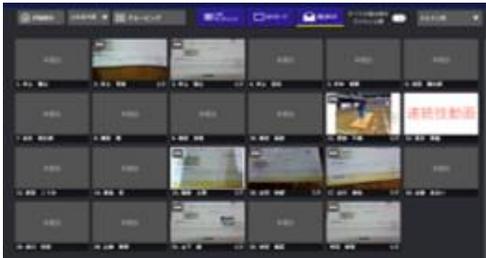
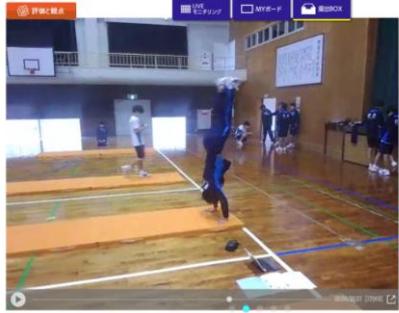
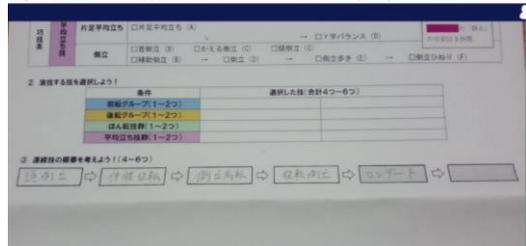


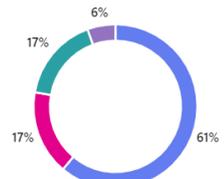
授業実践例

学年	1・2・3年	教科・領域	保健体育
単元・題材名	器械運動（マット運動）		
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて			
<p>本題材では、単元の中盤まで、マット運動のできる技を増やしたり、技の完成度を高めたりする活動を行った。単元の後半では、習得した技を組み合わせ、連続技として演技を構成し、披露した。人前で演技することに抵抗感のある生徒がいることに配慮し、各自でタブレットを用いて動画を撮影し、提出する方法をとった。</p>			
使用したアプリケーション	ミライシード（オクリンク）		
実践例	<ol style="list-style-type: none"> ①さまざまな技を練習し、できる技を増やしたり、技の完成度を高める。 ②予め設定していた技の構成基準に則って演技に取り入れる技を4～6つ選択する。 ③技と技のつながりや見せ場、マット上での動線を踏まえて技の順番を決める。 ④演技（連続技）の練習をする。 ⑤リハーサル動画をオクリンク上で提出しさせ、アドバイスなどをフィードバックする。 ⑥リハーサルの反省を生かし、仕上げの練習をする。 ⑦本番動画の撮影と提出 ⑧動画で技能の評価を行う。 		
資料等 ・ その他	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">    </div> <div style="width: 50%; padding-left: 10px;"> <p>◎メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の精神的負担（見られるのが恥ずかしい）の軽減 ・時間内であれば何度でも撮り直しができるため、よりよい演技ができるように粘り強く取り組む生徒が増えた。 ・各自撮影のため、テストにかかる時間が減り、その分を練習時間にあてることができた。 ・オクリンク上に動画が残るので、教師のアドバイス、生徒自身の反省を行いやすい。 ・動画を止めたり繰り返し再生できるので技能の評価がしやすい。 <p>●デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画が長すぎるとデータ容量の関係で送れないことがある。 ・端末の操作や不具合に時間を取られ運動時間が短くなる場合がある。 </div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>演技動画とともに←技の構成表の写真も提出させたことで、動画のチェックの際にどの技のつもりなのかしっかりと把握したうえで評価できた。</p> </div>		

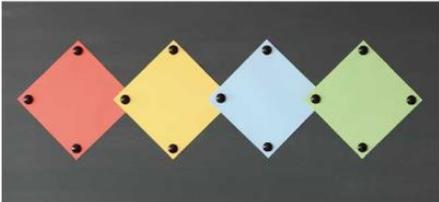
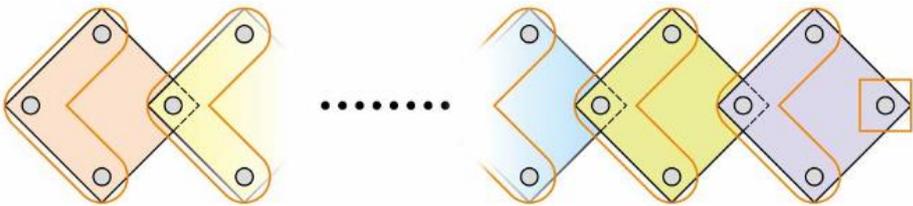
授業実践例

学年	1年	教科・領域	英語																																	
単元・題材名	パフォーマンステスト①～インタビューテストで自己紹介をしよう～																																			
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて																																				
英語の話すこと〔やり取り〕の領域において、次のような力を見つけることができることを目的とする。																																				
話すこと 〔やり取り〕	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。																																	
使用したアプリケーション	辞書代わりにしてタブレットを使用																																			
実践例	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R6 1年生 Interview Test 質問と答え方</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. What is your name? <small>(あなたの名前は何ですか。)</small></td> <td style="width: 50%;">My name is OOO. Yoshino Ayumi</td> </tr> <tr> <td>2. Where are you from? <small>(あなたはどこ出身ですか。)</small></td> <td>I'm from Hizen/ Tano/ Nousa / Kagami / Genkai.</td> </tr> <tr> <td>3. How old are you? <small>(あなたは何歳ですか。)</small></td> <td>I'm 12 years old.</td> </tr> </table>			1. What is your name? <small>(あなたの名前は何ですか。)</small>	My name is OOO. Yoshino Ayumi	2. Where are you from? <small>(あなたはどこ出身ですか。)</small>	I'm from Hizen/ Tano/ Nousa / Kagami / Genkai.	3. How old are you? <small>(あなたは何歳ですか。)</small>	I'm 12 years old.																											
1. What is your name? <small>(あなたの名前は何ですか。)</small>	My name is OOO. Yoshino Ayumi																																			
2. Where are you from? <small>(あなたはどこ出身ですか。)</small>	I'm from Hizen/ Tano/ Nousa / Kagami / Genkai.																																			
3. How old are you? <small>(あなたは何歳ですか。)</small>	I'm 12 years old.																																			
資料等 ・ その他	<p><インタビューテストのルーブリック評価></p> <p>*ルーブリックとは、パフォーマンステストの特徴を難易度ごとに分けた表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="background-color: #e0f2f1;">知識・技能</th> <th style="background-color: #fff9c4;">思考・判断・表現</th> <th style="background-color: #fce4ec;">主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">a 3点</td> <td>既習事項を正確に用いている。</td> <td>内容を整理し、必要な情報を入れたり、理解度を確認したり、適切なやり取りを行っている。</td> <td> <input type="checkbox"/> 学習した文法や語句を積極的に使うとしている。 <input type="checkbox"/> +αの情報を付け足そうとしている。 (発話の基本3原則) <input type="checkbox"/> アイコンタクト <input type="checkbox"/> 相づち(リアクション) * 無言にならない。 <input type="checkbox"/> 適切な声量や発音で話している。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">b 2点</td> <td>既習事項について、やや誤りがあるが、伝えられている。</td> <td>内容を整理し、必要な情報を入れたりするなど、適切な文選択ができています。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">c 1点</td> <td>既習事項に誤りや1～2語文が多い。(単語で答えている。)</td> <td>コミュニケーションが上手にとれていない。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e0f2f1;">知識・技能</th> <th style="background-color: #fff9c4;">思考・判断・表現</th> <th colspan="3" style="background-color: #fce4ec;">主体的に学習に取り組む態度</th> <th rowspan="2" style="background-color: #fce4ec;">Total (合計)</th> </tr> <tr> <th>Accuracy (正確さ)</th> <th>Interaction (やり取り)</th> <th>Willingness (積極性や意欲)</th> <th>Eye contact + Reaction (視線+相づち)</th> <th>Volume + Pronunciation (声の大きさ+発音)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 2 1</td> <td>/15</td> </tr> </tbody> </table>				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	a 3点	既習事項を正確に用いている。	内容を整理し、必要な情報を入れたり、理解度を確認したり、適切なやり取りを行っている。	<input type="checkbox"/> 学習した文法や語句を積極的に使うとしている。 <input type="checkbox"/> +αの情報を付け足そうとしている。 (発話の基本3原則) <input type="checkbox"/> アイコンタクト <input type="checkbox"/> 相づち(リアクション) * 無言にならない。 <input type="checkbox"/> 適切な声量や発音で話している。	b 2点	既習事項について、やや誤りがあるが、伝えられている。	内容を整理し、必要な情報を入れたりするなど、適切な文選択ができています。		c 1点	既習事項に誤りや1～2語文が多い。(単語で答えている。)	コミュニケーションが上手にとれていない。		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			Total (合計)	Accuracy (正確さ)	Interaction (やり取り)	Willingness (積極性や意欲)	Eye contact + Reaction (視線+相づち)	Volume + Pronunciation (声の大きさ+発音)	3 2 1	3 2 1	3 2 1	3 2 1	3 2 1	/15
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																																	
a 3点	既習事項を正確に用いている。	内容を整理し、必要な情報を入れたり、理解度を確認したり、適切なやり取りを行っている。	<input type="checkbox"/> 学習した文法や語句を積極的に使うとしている。 <input type="checkbox"/> +αの情報を付け足そうとしている。 (発話の基本3原則) <input type="checkbox"/> アイコンタクト <input type="checkbox"/> 相づち(リアクション) * 無言にならない。 <input type="checkbox"/> 適切な声量や発音で話している。																																	
b 2点	既習事項について、やや誤りがあるが、伝えられている。	内容を整理し、必要な情報を入れたりするなど、適切な文選択ができています。																																		
c 1点	既習事項に誤りや1～2語文が多い。(単語で答えている。)	コミュニケーションが上手にとれていない。																																		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			Total (合計)																															
Accuracy (正確さ)	Interaction (やり取り)	Willingness (積極性や意欲)	Eye contact + Reaction (視線+相づち)	Volume + Pronunciation (声の大きさ+発音)																																
3 2 1	3 2 1	3 2 1	3 2 1	3 2 1	/15																															

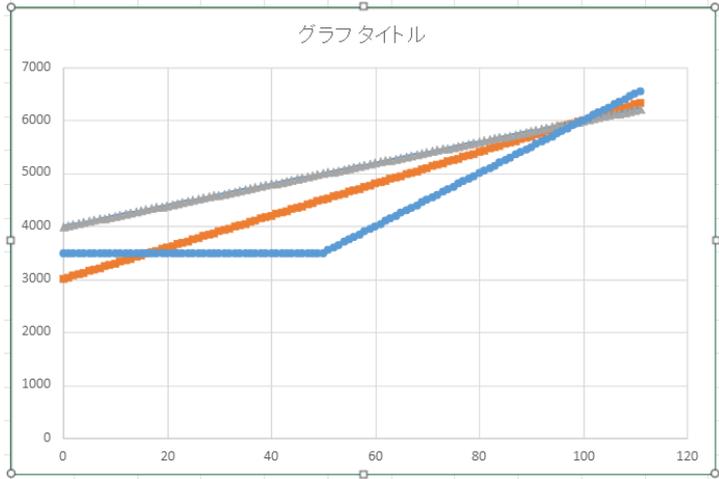
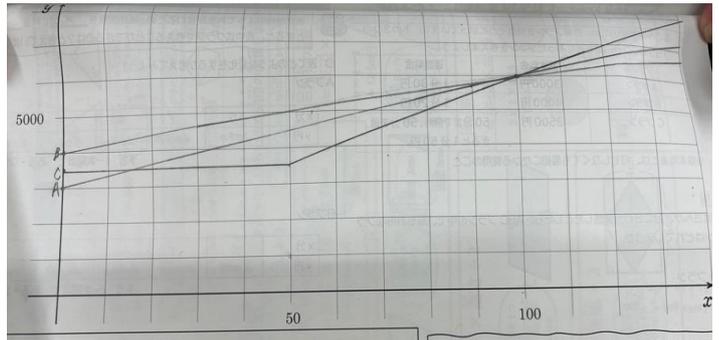
授業実践例

学年	2年	教科・領域	英語科															
単元・題材名	UNIT 2																	
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて																		
<p>本単元では、接続詞を学習する。“if”“when”“that”“because”は自己表現するとても良い題材である。Formsを用いて、「私は～だと思ふ。」と英語で表現し、クラスで共有するという活動を行った。</p>																		
使用したアプリケーション	Teams、Forms																	
実践例	<p>1. "I think that～"の導入 2. 教科書本文の聞き取り、音読、読み取り 3. ドリル学習 ロート練習、ワーク 4. Teams 課題(1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">2年生 UNIT2-3 課題「そう思う?『そう思わない?』」</p> <p>1. たくさんの人が賛同するような、あなたの考えや意見を“I think that ○○.”の表現を使って書いてください。 ただし、ほかの人を傷つけたり、不快にさせたりするような内容は書かないでください。 面白い考えや意見を期待しています。[例] “I think that English is very easy.”</p> </div> <p>5. Teams 課題(2) アンケートに答える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">「そう思う?『そう思わない?』アンケート</p> <p style="font-size: small;">みなさんに作ってもらった英文です。あなたは「そう思う?『そう思わない?』」答えてね。</p> <p>1. I think that cats are very cute.</p> <p><input type="radio"/> Strongly agree</p> <p><input type="radio"/> Agree</p> <p><input type="radio"/> Disagree</p> <p><input type="radio"/> Strongly disagree</p> <p><input type="radio"/> Neither</p> </div> <p>6.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="font-size: small;">2. I think that English become very difficult (0 点数) 詳細情報</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px;">●</td> <td>Strongly agree</td> <td style="text-align: right;">11</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>Agree</td> <td style="text-align: right;">3</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>Disagree</td> <td style="text-align: right;">3</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>Strongly disagree</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>Neither</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> </div>			●	Strongly agree	11	●	Agree	3	●	Disagree	3	●	Strongly disagree	1	●	Neither	0
●	Strongly agree	11																
●	Agree	3																
●	Disagree	3																
●	Strongly disagree	1																
●	Neither	0																
資料等 ・ その他	<p>1学期の生徒の授業の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語が楽しいです。・授業の中で分かりにくい部分がたまにある ・英語を楽しくまなべています。面白い授業をいつもありがとうございます! ・授業分かりやすいです。・英語はよくわかりません。 ・特にないです。・早くビンゴしたいです! ・今後もよろしくー・眠くなるので面白い授業をしたい、、、、、、、、、、(; ∇ ;) ・面白いですね(^-)-☆・要望・わからないところなどをもっと詳しく分かるようにしたい。楽しくいきましょう ・英語の授業が楽しいから毎日英語の授業が待ち遠しくなります! 																	

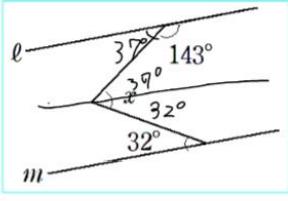
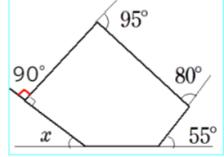
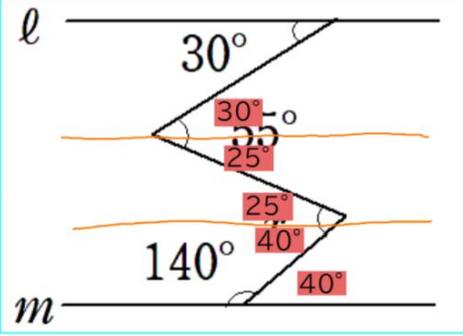
授業実践例

学年	1年	教科・領域	数学
単元・題材名	文字の式		
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて			
<p>抽象的な文字を利用して式を考える場を持った。 正方形が1個の場合、2個の場合、3個の場合・・・の場合を考えさせた後、抽象的な場合について考えさせた。1つ具体例を挙げ、他にどのような場合があるかを考えさせた。</p>			
使用したアプリケーション	Power Point		
実践例	<p>文字の式のまとめとして規則性の問題を取り扱った。正方形が具体的な個数のときのマグネットの個数を求めることができていた。抽象的な場合について、表を使ったり、図を使ったりしていろいろな考え方を共有することができた。班では出た答えの式の形が違っていたが、どの考え方わかりやすいか、他の方法がないかを意見を話し合う姿があった。</p>		
資料等 ・ その他	<p>どのように考えたのかな？</p> <p>右の写真のように、正方形の画用紙を、その一部が重なるようにしてマグネットでとめます。</p>  <p>x 枚の画用紙をとめるのに、必要なマグネットの個数を考えましょう。</p> 		

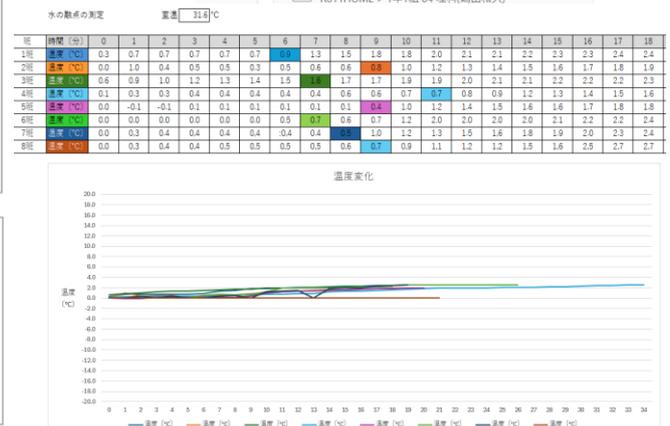
授業実践例

学年	2年	教科・領域	数学																																																																																																																																																															
単元・題材名	一次関数																																																																																																																																																																	
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて																																																																																																																																																																		
<p>3つの料金プランを手書きのグラフに書く前に、あらかじめエクセルシートに数値を入力し、グラフの概形がわかった状態で、グラフをかかせた。目盛の大きさが異なるグラフだが、エクセルで描いたグラフを見ながら、手書きでグラフをかくことができた。</p>																																																																																																																																																																		
使用したアプリケーション	Excelのグラフ機能、Teams課題																																																																																																																																																																	
実践例	<p style="text-align: center;">ABCのそれぞれの料金プランをグラフ化しよう!</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th colspan="17" style="text-align: left;">A</th> </tr> <tr> <th style="background-color: #d9e1f2;">x</th> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td> </tr> <tr> <th style="background-color: #d9e1f2;">y</th> <td>3000</td><td>3030</td><td>3060</td><td>3090</td><td>3120</td><td>3150</td><td>3180</td><td>3210</td><td>3240</td><td>3270</td><td>3300</td><td>3330</td><td>3360</td><td>3390</td><td>3420</td><td>3450</td><td>3480</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th colspan="17" style="text-align: left;">B</th> </tr> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">x</th> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td style="background-color: #d9ead3;">7</td><td style="background-color: #d9ead3;">8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td> </tr> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">y</th> <td>4000</td><td>4020</td><td>4040</td><td>4060</td><td>4080</td><td>4100</td><td>4120</td><td style="background-color: #d9ead3;">4140</td><td style="background-color: #d9ead3;">4160</td><td>4180</td><td>4200</td><td>4220</td><td>4240</td><td>4260</td><td>4280</td><td>4300</td><td>4320</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th colspan="17" style="text-align: left;">C</th> </tr> <tr> <th style="background-color: #fff2cc;">x</th> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td> </tr> <tr> <th style="background-color: #fff2cc;">y</th> <td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td><td>3500</td> </tr> </thead> </table>			A																	x	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	y	3000	3030	3060	3090	3120	3150	3180	3210	3240	3270	3300	3330	3360	3390	3420	3450	3480	B																	x	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	y	4000	4020	4040	4060	4080	4100	4120	4140	4160	4180	4200	4220	4240	4260	4280	4300	4320	C																	x	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	y	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500
A																																																																																																																																																																		
x	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																																	
y	3000	3030	3060	3090	3120	3150	3180	3210	3240	3270	3300	3330	3360	3390	3420	3450	3480																																																																																																																																																	
B																																																																																																																																																																		
x	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																																	
y	4000	4020	4040	4060	4080	4100	4120	4140	4160	4180	4200	4220	4240	4260	4280	4300	4320																																																																																																																																																	
C																																																																																																																																																																		
x	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																																	
y	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500																																																																																																																																																	
資料等 ・ その他	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div>																																																																																																																																																																	

授業実践例

学年	2年	教科・領域	数学
単元・題材名	図形		
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて			
<p>難易度がそれぞれの角度の問題を準備し、生徒が解説できる問題を選び、一人一問解説を行った。オクリンクに図形の画像を送り式や言葉・図中に書き込みをし、すべての生徒が解説を行った。</p>			
使用したアプリケーション	ミライシードのオクリンクプラス		
実践例	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #e0f0ff;"> <p>(4)</p>  <p>xの頂点を通り、lとmに平行な直線を引く。 錯角の位置にあるから32°になり$180 - 143$を引くと37°になります。 32°と37°を足すとxは69°になります。</p> $180 - 143 = 37$ $37 + 32 = 69$ $\angle x = 69^\circ$ </div>		
資料等 ・ その他	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #e0f0ff;"> <p>(13)</p>  <p>内角の90°なら外角は90°になる 多角形の外角の和は必ず360°になるから</p> $\text{式 } 360 - (90 + 95 + 80 + 55) = 40$ <p style="text-align: center;">$X = 40^\circ$ になる</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #e0f0ff;"> <p>(16)</p>  <p>$25 + 40 = 65$</p> </div>		

授業実践例

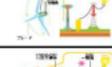
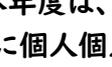
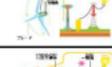
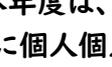
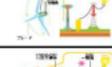
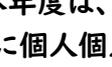
学年	1年	教科・領域	理科
単元・題材名	氷がとける温度		
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて			
<ul style="list-style-type: none"> グループ実験で、温度を測定・記録する係、データを入力する係などの役割分担をする。 Padletで個人の意見を記述し、グループ内やクラスでの交流を行う。 			
使用したアプリケーション	Teams, Excel, Padlet		
実践例	<ul style="list-style-type: none"> 氷がとける温度（融点）をグループ実験によって調べ、全グループのデータを見ることができるようにして、クラスワークに生かした。 Padletで一人一人の意見を共有した。 次時の「水の沸点」の実験も同様に行った。 		
資料等 ・ その他	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Teamsにデータ入力用のExcelファイルのリンクとPadletのリンクを貼り付け、全員がアクセスできるようにした。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>データ入力用のExcelファイルは、全8グループを1つのグラフに表示させた。概ね0°C付近で温度は一定となった。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>Padletによる意見 班ごとに並べ、グループワークに生かせるようにした。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>		

授業実践例

学年	2年	教科・領域	社会科
単元・題材名	「幕府改革の通信簿」 ～一番優秀な改革者は誰か～		
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて			
<p>本題材では、優秀な改革者について調べて、発表できる場を持った。歴史的分野では、難しい内容ではあるものの、立論を立てるところから、生徒が考えやすいように整理して、何を調べると良いか明らかにしてから取り組ませた。</p>			
使用したアプリケーション	CANVA、インターネットブラウザ、PADLET、TEAMS		
実践例	<p>江戸時代の学習のまとめとして、本題材を設定した。徳川吉宗・田沼意次・松平定信について、誰が一番優秀な改革者であったのか、生徒は調べて発表を行った。班ごとに、CANVAのスライドを共有し、プレゼンを作った。各班の発表では立論がよく組み立てられていた。最終的に、吉宗が一番優秀だと答える人が多かったが、田沼の政治が優秀だと主張する生徒もいた。班の発表後には、充実感を感じている様子が見られた。</p>		
資料等 ・ その他	各班の立論	<p style="text-align: center;"><u>吉宗派</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新田開発で増収（1800万石→3000万石へ）10年で増収は、10%上昇、定免法で計画的に増収（調査代を払わないでよい）農具の改良にもつながった。 ・目安箱を採用し、不満を和らげた。さらに政策を取り入れた。（小石川療養所、町火消）役人の行いを正す効果もあった。 ・公事方御定書を自ら作り、公正な裁判が行われるようにした。 	
	<u>田沼派</u>	<p style="text-align: center;"><u>松平派</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寛政の改革で村を立て直そうとした。 ・帰農令では、34000人の出稼ぎ労働者に資金を渡すも失敗。（守られなかったことにも問題がある） ・天明の飢饉で90万人もの人が亡くなり、対策として、改革は進められた。 	
PADLETの投稿		<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> <p>私たちと同じで吉宗のプレゼンだったけど私たちが調べていないところも書かれていたので吉宗のまた新たなところに知れてよかったです。</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> <p>田沼意次の人物像や、財政のために尽くしていたことを知ることができました。</p>

授業実践例			
学年	2年	教科・領域	国語
単元・題材名	同音異義語・対義語		
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて			
<p>漢字を覚えるのが苦手であるため、書かせて覚えさせるのではなく、意味・イラスト・漢字の3点をセットにして視覚的に覚えられるようにした。</p> <p>4つのグループに分け、各グループの1位、2位、3位、4位を決め、2回目では、順位毎のグループ編成を行い実践した。</p>			
使用したアプリケーション	Power Point		
実践例	<p>ただ、楽しくかるたをするだけでなく、復習プリントで漢字を覚えさせ、漢字テストを行ったあと、もう一度、かるたをさせた際、前回、かるたを1、2枚しか取れなかった生徒も、7～10枚獲得することができた。また漢字も書けることで自信を持つことができた。電子黒板にPower Pointで、同音異義語の意味を見せ、グループ毎に漢字を考えさせた。意味から漢字が分かった場合はすぐに取れたが分からない場合は、漢字まで見せた。漢字を見てもピンとこない生徒は、イメージされたイラストをヒントにカードを取得することができた。</p>		
資料等・その他	<p>2025/1/15</p> <p>1 同音異義語</p> <p>2 ある事に興味を持つこと。心が惹かれて注意を向けること。 関心</p> <p>3 互いに調和を保って釣り合うこと。 対称</p> <p>4 生体が体内で食物を吸収しやすい形に変化させること。 消化</p> <p>5 門や戸などをあけはなすこと。あけたままにしておくこと。 開放</p> <p>6 他と照らし合わせて比べること。 対照</p> <p>対象 対象 対象 対象 対象 対象</p> <p>対照 対照 対照 対照 対照 対照</p> <p>対称 対称 対称 対称 対称 対称</p>		

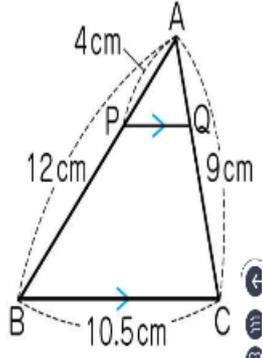
授業実践例

学年	2・3 年	教科・領域	技術科・エネルギー変換の技術																																																												
単元・題材名	いろいろな発電方法をまとめ、理想の発電割合を考えよう																																																														
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて																																																															
<p>クラスを4人ずつのグループに分けての活動で、9つの発電方法を分担してまとめたが教科書から情報を持ってくる活動なので、自分の担当をしっかりとめることができた。また、話し合いも4人と少人数でいろいろな意見を出しやすい雰囲気ができていた。</p>																																																															
使用したアプリケーション	Teams ・ Excel ・ Edge																																																														
実践例	<p>エネルギー変換の技術の学習の中で、様々な発電方法のメリット・デメリットを考えるために、これから先の日本の理想の発電割合を考える活動を行った。</p> <p>生徒達には、教科書の情報と発電の仕組み(教科書には未掲載)を調べて、9つの発電方法をまとめ、その情報を基に考えていく様にした。</p> <p>4人ずつのグループで『班毎にExcelファイルを用意』し、『Teamsで配布』し、『共同編集』で班のファイルを分担してまとめ活動を行い、4人でまとめた内容を基に話し合い活動を行う流れで行った。少人数での取り組みの為、グループ内での会話が生まれやすく、メリット・デメリットを考えながら、発電について深く学ぶことができた。</p>																																																														
資料等 ・ その他	<p style="text-align: center;">いろいろな発電方法についてまとめよう(これからの日本の発電割合を考えよう(表の黄色い部分を入力しよう))</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #ffff00;"> <th>発電方法</th> <th>発電の仕組み</th> <th>プラス面</th> <th>マイナス面</th> <th>電量の発電割合(%)</th> <th>考えの発電割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火力発電(石炭)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>26.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>火力発電(石油)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>火力発電</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>42.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子力発電</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水力発電</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地熱発電</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>風力発電</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>太陽光発電</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バイオマス発電</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: right;"> <p>2021年 日本の発電割合</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 火力発電(石炭) ● 火力発電(石油) ● 火力発電(天然ガス) ● 火力発電 ● 原子力発電 ● 水力発電 ● 地熱発電 ● 風力発電 ● 太陽光発電 ● バイオマス発電 </div> <div style="text-align: left;"> <p>私が考える発電割合</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px auto;"></div> <p>私の考え</p> </div> </div> <p style="margin-top: 20px;">本年度は、他学年の別領域でもExcelシートを共同編集でまとめ、その情報を基に個人個人で学んだことを文章でまとめる活動や話し合いをする活動を行った。みんなで取り組む事で担当になった所を責任を持って取り組む姿が見られた。</p>			発電方法	発電の仕組み	プラス面	マイナス面	電量の発電割合(%)	考えの発電割合(%)	火力発電(石炭)				26.5		火力発電(石油)				2.5		火力発電				42.7		原子力発電				5.9		水力発電				7.8		地熱発電				0.3		風力発電				0.9		太陽光発電				9.3		バイオマス発電				4.1	
発電方法	発電の仕組み	プラス面	マイナス面	電量の発電割合(%)	考えの発電割合(%)																																																										
火力発電(石炭)				26.5																																																											
火力発電(石油)				2.5																																																											
火力発電				42.7																																																											
原子力発電				5.9																																																											
水力発電				7.8																																																											
地熱発電				0.3																																																											
風力発電				0.9																																																											
太陽光発電				9.3																																																											
バイオマス発電				4.1																																																											

授業実践例

学年	2年	教科・領域	生徒会活動
単元・題材名	生徒会活動について		
	一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて		
使用したアプリケーション	CANVA		
実践例	<p>今期の生徒会長選挙において、ポスター作成をCANVAを用いて行った。普段、絵をかくことが苦手な生徒も工夫してポスター制作をした。</p>		
資料等 ・ その他			

授業実践例

学年	3年	教科・領域	数学
単元・題材名	第5章 相似と図形 ・ 対応する辺の比が等しくなることを証明しよう。		
一人一人が自信をもって表現できる環境づくりについて			
<p>本題材では、平行線の性質などを使って、辺の比が等しいことを確かめる。証明問題をグループ活動を通して、発表のしやすい環境を作った。</p>			
使用したアプリケーション	Power Point		
実践例	<p>前回学んだ相似性を使って、平行線の辺の比が等しくなることを証明させた。その際に、数学が得意な子をそれぞれのグループに1人入れ、その人を中心に話し合い活動をする中で、生徒たちの発表しやすい環境を作った。また、グループで話し合ったことをホワイトボードでまとめ、発表することで全体に共有させた。</p>		
資料等 ・ その他	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p> ひろげよう</p> <p>右の図の△ABCで、PQ//BCのとき、 △APQ∽△ABC であるといえるでしょうか。 また、AQ、PQの長さは何cmでしょうか。</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;">  </div> </div>		